

# 平成30年度 みんなで支える森林づくり木曾地域会議 (第2回) 実施概要

1 日 時 平成31年3月5日(火) 13時30分～15時20分  
場所 木曾合同庁舎2階 講堂

## 2 出席者

### 【委員】

神村光雄委員(座長)、大屋誠委員、大家八代美委員、長渕昭子委員、清水紘一委員、  
長瀬恵敏委員、古畑正美委員

### 【木曾地域振興局】

増田局長、小田切林務課長、稲村課長補佐兼林務係長、中宿課長補佐兼普及林産係長、  
中村副参事兼課長補佐兼治山林道係長、田口森林保護専門員、上野担当係長

### 【報道】

なし

### 【傍聴】

なし

## 3 地域会議の内容

(1) 開会

(2) あいさつ

増田木曾地域振興局長があいさつ

(3) 会議事項

- ① 平成30年度森林づくり県民税活用事業の実施状況について
- ② 平成31年度森林づくり県民税活用事業の概要について
- ③ 情報提供(新たな森林管理システムと森林環境譲与税について)

事務局から、「平成30年度森林づくり県民税活用事業の実施状況について」資料1及び2により、「平成31年度森林づくり県民税活用事業の概要について」資料3により説明し、ご質問やご意見を伺いました。



会議の様子

### 【委員の皆さまからの主な意見等】

#### 〔H30実績見込み関係〕

- 里山整備事業の実績の進捗はどうなっているのか。  
→ 進捗管理の元になる里山整備方針書の作成を進めているところ。
- 県民協働による里山整備の手順について、PRが不足しているのではないかと。また、

面積要件等が厳しいのではないか。

→ 31年度に向けて、PR方法を考えたい。(里山利用地域要件を説明)

- 観光地の景観整備については、H30年度に要望したができなかった箇所はどのくらいあるのか。

→ 木曾地域では、3箇所要望のうち2カ所が予算的にできなかった。

- 森林税活用事業の全般がうまく住民に伝わっていない。情報を町村を通じてうまく流してほしい。

→ 31年度に向けて、PR方法を考えたい。(回覧板などの活用)

#### [H31 事業概要関係]

- ライフラインの危険木の伐採はどんなところが対象か、建設部と林務部とのすみ分けはどうなっているのか。

→ (事業の概要を説明)

- 事業は、行政(町村)が要望をくみ取って実施するものが多いが、実際に施業をするのは森林組合等であるので、担い手の育成は確実に必要である。

#### [新たな森林管理関係]

- 2月14日の新聞に県のサポートセンターを作るとの掲載があったが、この制度の関係か。

→ この制度の推進にあたって、県が市町村をしっかりと支援していくためのもの。

- 森林所有者の意向調査等を実施していく業務は、非常に大変である。実務としてしっかり、何をどうやるのか考えて対応する必要がある。

- この制度に対する市町村の感触はどうか。

→ 今後、取り組んでいかなければならない制度であることから、広域連携体制の構築に向けた検討に入ろうとしており、前向きに受け止めていると思われる。

#### (4) 閉会